

52号線建設の根拠はことごとく破綻、 計画を白紙に戻す以外になし

52号線の計画は、75年前に机上で作成されたもので、当時の計画は成城4丁目で行き止りで「道路ネットワーク」などは形成していません。都は2016年に行き止りの区間550mの廃止を決めました。しかも75年前の決定手続きに瑕疵があり、道路事業認可の取り消しを求める行政訴訟で、決定自体の違法性が問われ、法廷では国も裁判所も瑕疵を認めています。決定手続きに瑕疵がある住民の合意もない計画は見直すべきです。

この間、東京都は計画を強行するために様々な粉飾を凝らしてきました。1990年代に当時の石原都知事は、2020年オリンピックにむけ東京の都市改造として都市計画

道路を位置づけ推進して来ました。しかしオリンピックに向けた都市改造の狙いは完全に破綻したことは今日都民の前に明白になっています。

そこで都は新たに2011年の東北大地震に関連させて、震災による火災に備えて「延焼遮断形成」など都市防災に都市計画道路の必要性を強調、2012年に特定整備路線として28路線の事業化を図ってきました。これも道路は防災に役立たないことが明らかになり事業期間内には一つも完成していません。都は今年2月にこの事業5年延長を一方向的に決めましたが、完成の見通しは立っていません。

都は昨年末に東京の町づくりの

マスタープランを改訂。2040年代の東京の再開発推進に都市計画道路を据えました。しかしコロナ禍で命を守る施策優先の政治が叫ばれ、これまでの都市再開発のあり方を見直す世論が広がっています。いまこそ都市計画道路を見直し、住民の参加と合意の町づくりを推進すべきです。



都市計画道路補助52号線とは

都市計画決定は1946年4月25日、計画延長9,580m 標準幅員20m

起点:目黒区青葉台4丁目 終点:世田谷区成城7丁目

東京都は環七若林陸橋～成城7丁目を4区間に分けて整備しています。

若林陸橋～宮坂1丁目128号線の区間は事業認可され現在用地取得中。この内豪徳寺世田谷線までは今年3月完成予定が、工事着工出来ず、都は2月に事業5年延長を決めました。

世田谷線～宮坂1丁目区間の用地取得18%で全く進んでいません。

宮坂1丁目～環八船橋の区間は、2016年優先整備路線に選定、その後進展はありません。

環八船橋～成城7丁目の未着手区間は2040年までに整備予定です。

都道52号線(環境破壊)に反対する会とは

東京都が整備を表明した1996年に若林・梅丘・豪徳寺の地権者・住民によって発足、都が2016年に船橋まで優先整備を公表、これに抗して全域での住民連携が広がり今日に至る

連絡先:中原甫記03(3420)0426、柱道男03(3428)4641、伊藤光壽03(3427)0886

住民追い出し 環境破壊、町壊しの 道路計画見直しを



豪徳寺2丁目、金網で囲まれゴーストタウンのように

古道滝坂道沿いの家並は次々と解体され、金網で囲まれた空き地(道路予定地)になってしまいました。代々受け継いだ思い出のいっぱい詰まった家も、終の棲家として改修の終わったばかりの家

も今はありません。ここに、幅20m超の道路ができるとか。豪徳寺の商店街へ、小田急線の駅へと、どこからでも自由に往来できたのが、今度は信号機の付いた横断歩道を渡らなければならない、街は完

全に分断されてしまいます。

予定される新道には多くの「犠牲」が埋まっていることを忘れてはなりません。

(豪徳寺2丁目・奥山雅洋)

都道52号線(環境破壊)に 反対する会ニュース号外

このたび、52号線の地権者・住民は、計画の見直しを求めるチラシを作成しました。みなさまのご意見をお寄せください。

2021年7月

経堂4丁目、天祖神社横の児童公園もなくなる



52号が及ぼす環境への悪影響を危惧しています。

例えば、船橋一丁目広場と、天祖神社の公園。いくつかの保育園が順番で子供達を遊ばせています。他にも、放課後の小学生、赤

ちゃん連れのママ達も。この二つの公園が無くなってしまいます。

また、大きなトラックを含む交通量が増え、危ない交差点も沢山できてしまったら、園児のみならず、全ての人に危険極まり

ない事になります。

現状を知って、更に想像力を働かせ、忍び寄る不要な道路開発に、NOを突きつけましょう。

(経堂4丁目 秋山美子)

私たちは主張します、都市計画道路こそ**不要・不急**！

通過交通不要と合意、区と地元

千歳船橋駅前地区の地区街づくり計画の範囲です。世田谷区砦総合支所街づくり課と住民等のまちづくり協議会とが話し合いました。合意したのは平成13年のことです。この地区街づくり計画のみちづくりの方針には次のように書かれています。

「千歳通り・城山通を除いた道路は、通過交通を入れないまちづくりを目指します」。都市計画道路52号線と215号線は不要との結論を出したのです。区と地元と、がです。この意見、今も変わっていません。

船橋1丁目 中井 基博



子供達の遊び場、児童公園2カ所がなくなる

優先整備路線（宮坂128号線～環状8号線船橋区間の延長2.3km）の沿線に公園が3カ所あり、都道52号線の道路計画で経堂4丁目と船橋1丁目の2つの公園が奪われます。残る公園は経堂3丁目の石仏公園のみとなります。優先整備路線の沿線にある保育園の園児が押し掛けるようになり、公園利用が崩壊してしまうと思われます。52号線の会の申し入れを受けていただいた保育園の園長、副園長は「園児の遊び場がなくなり困る」と憂慮されておられました。52号線建設で幼児教育に支障が出ることになります。

経堂3丁目 中原 甫記

どうなる世田谷線との平面交差、子ども達の安全は？

現在世田谷線豪徳寺交差点は踏切りのみですが、計画路は幅20mの2車線両面通行となり、歩行者の横断と豪徳寺駅前通りや城山通り方面からの流入車に信号設置が想定されます。それにより車発進の騒音、振動、排ガスによる環境悪化は必至です。また環七若林～宮坂1丁目区間には小中5学校、保育園など5園が計画道に隣接しており、大型車などの流入による子ども達の安全、地域の交通事故が懸念されています。

梅丘3丁目 菊池 伸夫



税金は困ってる方の支援に、52号は不要！

私は千歳通りに面した寺をお預かりしております。環八が近いとはいえ近くには保育所や幼稚園学校等有り、子供達の元気な声が聞こえてくる心豊かな住宅地です。

ご門徒の中には「やっとの思いで建てた家です。その当時は道路計画地外であったのに知らぬ間に家の殆どがかかってしまっていたことに驚いた」という方もいらっしゃいました。拙寺も同様にかかる面積は大幅に変わってしまいました。

大型道路が出来れば子供達は益々外へ出なくなり、心身の健康が損なわれる心配があります。また、寺は交差点に面し参拝者の安全性は保てなくなります。

都の財源はこの52号線建設に反対する多くの住民の血税でもあることを再認識頂きたいものです。

高輪山 浄立寺住職



自然の恵みが魅力、新道路不要

拙宅にて緑豊かな光景と鳥のさえずりに癒されております。お年寄りがベンチでほっと一息ついている姿を度々見かけます。コロナ禍の今も昔と変わらぬ子どもたちの元気な声に励まされ癒されます。都会の中でしみじみと自然を味わえます。老若男女幅広い世代から利用され愛されている、このような公園は後からではもう作れません。SDGsが言われている中、なぜ今更環境負荷の高い道路が要るのでしょうか？車の減少、ドローンの活用、近い将来 世界は一変します。無駄な道路は要りません。無駄に税金を使わないためにも計画道路は白紙に戻しましょう！！

経堂4丁目 吉橋 辰宜

今の生活環境を守れ！

この道路必要ですか。これから人口が減り、車も減るといふのに！もし、道路が出来れば今の静かな住宅地は車の騒音と、排気ガスに夜中まで悩まされることとなります。交差点では交通事故も増えるでしょう。小学校の通学路が遮断され、子ども達の大切な命が脅かされるような事も起きますと思います。20m道路は災害時の延焼を遮断するためになるというのは、詭弁です。糸魚川の大火事で20m位では遮断の役には立たないと証明されているのですから。今の生活環境を守りたい。この地の住民として、未来の子ども達のために。

経堂3丁目 石川 恵子

経堂祭りどうなるの？

閑静な寺の環境が大きく壊されてしまい、地域コミュニティの場所としても破壊されてしまいます。商店街は大きく分断されてしまい、経堂祭りはどうなるのか？横断による、児童や高齢者の安全は？当たり前のように無責任に開発を進めているのが現状であり、将来、人口減少による税収減が現実のなか、道路維持にかかる都民の負担が増えてゆくことに懸念が高まります。

経堂山 福昌寺住職

時代の変化すら見ない？

われわれが反対活動を行なっている都道52号線は、終戦直後の1946年（昭和21年）に計画され75年が経過している。当時のこの計画地は自然豊かな場所であり、ほとんどが畑などの農地だったと思われます。しかし時代の変化は激しく現在ほとんどが住宅地になっております。従来通りの計画を推し進めることは暴挙以外の何物でもありません。都と区の担当部門はこの状況を認識し計画の見直しを決断すべき時期に至っていると考えます。

経堂2丁目 平井 温

見えない怖さ見直す機会

我家は道路計画の盛土予定地域にかかります。そもそも論から、我家の前面道路は低い訳では無く、隣接した道や私道が他より高いため、その高低差を地権者の少ない我家の前面に持込み、170cm前後の盛土に埋められてしまう。ましてや裏側の家は70cm低い現状！公表もせず我々数軒の交渉を引延しにしておいて、周りを固めて追い込む様子は理不尽で不条理！盛土を無くし其々の道で高低差を工夫し消化する事へ智慧を絞ってこそ、安全で予想出来ない災害に備える「特定整備路線」ではないか！！見えない怖さを知る今こそ見直すチャンスです！

梅丘2丁目 眞鍋 規味代